日本ガス 精製メタンを都市ガス原料に 地域内で資源と資金の循環

日本ガス（社長＝高橋直樹氏）は、北海道鹿部町（茅部郡）と鹿児島県鹿児島市（鹿児島郡）の両地域で、都市ガスの原料となる精製メタンを生産する。両地域の清掃工場から出る生活ごみを発酵させ、メタンガスを生成する。両地域の清掃工場は、ごみを焼却する際に発生する熱を利用して、発酵に必要な熱を供給する。両地域で生産するメタンは、パイプラインを通じて都市ガスの原料として供給する。両地域の清掃工場は、来年4月から運用開始を予定している。

12月に完成予定の新南部清掃工場

清掃工場由来メタンを受入

両地域は、ごみ処理施設（ごみ焼却場）を2カ所ずつ保有している。両地域の清掃工場は、新南部工場が1日当たり約200トン、鹿児島工場が1日当たり約150トンのごみを焼却する。両地域の清掃工場は、ごみを焼却する際に発生する熱を利用して、発酵に必要な熱を供給する。両地域で生産するメタンは、パイプラインを通じて都市ガスの原料として供給する。両地域の清掃工場は、来年4月から運用開始を予定している。